

System Center Operations Manager 2007 SP1 用   
Microsoft® SharePoint® 2010 製品管理パック ガイド

Microsoft Corporation

発行: Microsoft リリース用: このドキュメントの内容は、Microsoft SharePoint 2010 製品管理パック リリースにのみ適用されます。

Copyright © Microsoft Corporation. All rights reserved. ユーザーは適用されるすべての著作権法に従う責任を負います。このドキュメントを使用するか、ドキュメントにフィードバックすると、以下の使用許諾契約書に同意したことになります。

このドキュメントに記載された内容は情報提供のみを目的としており、「現状有姿」のままで提供されます。このドキュメントは、マイクロソフトが特定のユーザーの環境用に用意した情報や開発したサービスのカスタマイズとしてご利用いただけるものではありません。法律で認められている範囲内で、マイクロソフトは、一切の明示、黙示または法律上の保証をいたしかねます。マイクロソフトは、これらの資料や資料内の著作物の使用に関連するいかなる種類の損害に対しても責任を負わないものとします。

マイクロソフトは、このドキュメントに記載されている内容に関し、特許、特許申請、商標、またはその他の無体財産権を有する場合があります。別途マイクロソフトによる許諾のない限り、このドキュメントはこれらの特許、商標、またはその他の無体財産権に関する権利をお客様に許諾するものではありません。

URL やその他のインターネット Web サイトの参照を含むこのドキュメントの情報は、予告なく変更されることがあります。別途記載のない限り、このソフトウェアおよび関連するドキュメントで使用している会社、組織、製品、ドメイン名、電子メール アドレス、ロゴ、人物、場所、出来事などの名称は架空のものです。

Microsoft、Active Directory、SharePoint、Windows、Windows NT、および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国または地域における登録商標または商標です。

記載されている会社名、製品名には、各社の商標のものもあります。

このドキュメントの利用者は、このドキュメントに関する提案、感想、およびその他のフィードバック (以下「フィードバック」といいます) をマイクロソフトに提供する義務を負いません。ただし、マイクロソフトにフィードバックを行った場合、そのフィードバックを利用、共有および商品化する権利は、いかなる方法および目的の下にあっても、無償でマイクロソフトに提供されるものとします。また、フィードバックに含まれる、マイクロソフトのソフトウェアまたはサービスの一部と連動するサード パーティの製品、技術およびサービスに必要となる特許権についても、すべて無料でそのサード パーティに提供されるものとします。フィードバックは、関連するソフトウェアまたはドキュメントの一部に含まれるため、このドキュメントの利用者は、マイクロソフトがそのソフトウェアまたはドキュメントをライセンス供与することが必要となる対象のフィードバックをサード バーティに行うことはできません。

目次

[前提条件 1](#_Toc248123028)

[クイック スタート 1](#_Toc248123029)

[この管理パッケージに含まれているファイル 5](#_Toc248123030)

[よく寄せられる質問 (FAQ) 5](#_Toc248123031)

[検出 8](#_Toc248123032)

[モニター 8](#_Toc248123033)

[ルール 11](#_Toc248123034)

# 前提条件

* この管理パックをインストールする前に、Microsoft SharePoint Foundation 2010 管理パックをインストールする必要があります。
* この管理パックを展開する前に、『Microsoft SharePoint Foundation 2010 管理パック ガイド』をお読みください。
* Microsoft SharePoint 2010 製品管理パックを「System Center Pack Catalog (System Center パック カタログのページ)」(<http://technet.microsoft.com/ja-jp/systemcenter/cc462790.aspx>) からダウンロードしてください。

# クイック スタート

**必要な更新プログラムおよび修正プログラム**

『SharePoint Foundation 2010 管理パック ガイド』の「**必要な更新プログラムおよび修正プログラム**」セクションを参照して、必要な更新プログラムがインストールされていることを確認してください。

**はじめに**

ここでは、管理パックをインポートし、System Center Operation Manager 2007 SP1 を使用して監視するようにシステムを構成するための、環境設定の手順を説明します。

1. System Center Operation Manager 2007 SP1 サーバーをセットアップします。『Operations Manager 2007 展開ガイド』(<http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/bb419281.aspx>) に従ってください。
2. サーバーの全体管理 Web サイトの [ファーム サーバー] ページにある一覧で、ファーム内のすべてのサーバーを確認します。正しくセットアップまたは構成されていないサーバーがある場合は、そのサーバーを修正するか、ファームから削除する必要があります。この処理を実行しないと、検出が適切に機能しない可能性や、以降のファームの監視が適切に機能しない可能性があります。正しくセットアップまたは構成されていないサーバーがある場合は、そのサーバーを全体管理 Web サイトから削除します。

**メモ:** 検出されないサーバーがファーム内にある場合は、検出または監視の機能が正しく機能していない可能性があります。

1. Operations Manager 2007 の検出ウィザードを実行して手順 2. で確認したサーバーに、Operations Manager 2007 エージェントをインストールします。Operations Manager 2007 コンソールで管理されるエージェントにコンピューターを追加して、エージェントをインストールすることをお勧めします。エージェント管理の詳細については、『Operations Manager 2007 展開ガイド』(<http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/bb419281.aspx>) を参照してください。

エージェント コンピューターにエージェントが既にインストールされている場合は、この手順を省略できます。

1. Operations Manager 2007 のアラート通知を構成します。詳細については、Operations Manager 2007 ガイドの一般的なガイドラインを参照してください。
2. 管理パック ガイドの説明に従って、Windows、SQL Server®、および IIS の管理パックをインポートして構成することをお勧めします。これらの管理パックは、「System Center Operations Manager 2007 Catalog (System Center Operations Manager 2007 カタログのページ)」(<http://technet.microsoft.com/ja-jp/opsmgr/cc539535.aspx>) から入手できます。
3. Microsoft SharePoint Foundation 2010 管理パックをインストールします。

**メモ:** 管理パックの Windows インストール ファイルがインストールされるサーバーで 64 ビット版の Windows が実行されている場合、管理パックは既定で %ProgramFiles(x86)% フォルダーにインストールされます。

1. 次のファイルを、Operations Manager 2007 管理サーバー上の %ProgramFiles%\System Center Management Packs フォルダーにコピーします。
   1. MicrosoftSharePointFoundation2010Management Pack
   2. MicrosoftSharePointServer2010Management Pack
   3. SharePointMP.Config
2. Operations Manager 2007 コンソールで、Microsoft SharePoint Foundation 2010 管理パックと Microsoft SharePoint 2010 製品管理パックの両方をインポートします。
3. Operations Manager 2007 管理サーバーで、オペレーション コンソールを開きます。
4. [**管理**] タブの [管理] ノードを展開します。
5. [**管理パック**] を右クリックし、[**管理パックのインポート**] をクリックします。
6. %ProgramFiles%\System Center Management Packs に移動し、MicrosoftSharePointFoundation2010Management Pack と MicrosoftSharePointServer2010Management Pack の両方を選択します。

**メモ:** Microsoft SharePoint 2010 製品管理パックは、Microsoft SharePoint Foundation 2010 管理パックに依存します。Microsoft SharePoint Foundation 2010 管理パックより前に Microsoft SharePoint 2010 製品管理パックをインストールすることはできません。この手順の前に Microsoft SharePoint Foundation 2010 管理パックをインストールした場合は、MicrosoftSharePointServer2010Management Pack のみを選択できます。

1. [**インポート**] をクリックします。
2. Operations Manager 2007 コンソールで、Microsoft SharePoint Foundation 2010 の検出および監視用に実行アカウントを作成します。
3. Operations Manager 2007 管理サーバーで、オペレーション コンソールを開きます。
4. [**管理**] タブで、[**管理**]、[**セキュリティ**]、[**実行アカウント**] の順に展開します。
5. [**実行アカウント**] を右クリックし、[**実行アカウントの作成**] をクリックします。
6. ウィザードに従って実行アカウントを作成し、アカウントの**表示名**を書き留めます。この名前は、次の手順で説明するように、SharePointMP.config ファイルで使用されます。実行アカウントに "SharePoint 検出/監視アカウント" という名前を付けると、次の手順で SharePointMP.config が更新されません。

**メモ:** 実行アカウントには、検出および監視の作業を行うのに十分な特権が必要です。Farm AdministratorSharePoint グループのメンバーであり、SharePoint ファーム データベースをホストし、すべての SharePoint データベースにアクセスするデータベース サーバー上の Administrators グループのメンバーであるアカウントを使用することをお勧めします。通常、SharePoint 2010 製品構成ウィザードの実行に使用されるアカウントには、必要な権限があります。

**メモ:** Microsoft SharePoint Foundation 2010 管理パック用にこの手順を既に実行した場合は、この手順を省略できます。

1. Operations Manager 2007 管理サーバーで管理タスクを実行して、検出および監視を構成します。
2. SharePointMP.config ファイルを、正しい情報で更新します。
3. %ProgramFiles%\System Center Management Packs フォルダーにある SharePointMP.config ファイルを開きます。
4. 以下のセクションを探して、アカウントを前の手順で作成したものに更新します。また、ファーム内のすべてのサーバーを監視用に追加します。詳細については、SharePointMP.config ファイルにある手順に従ってください。

|  |
| --- |
| <Association Account="**DisplayName** of Run As account" Type="Agent">  <Computer Name="agentComputerFilter1" />  <Computer Name="agentComputerFilter2" />  …  </Association> |

1. 管理タスクを実行して、検出および監視を構成します。
2. Operations Manager 2007 管理サーバーで、**オペレーション コンソール**を開きます。
3. [**監視**] タブで、**SharePoint Foundation 2010** フォルダーに移動します。
4. SharePoint Foundation 2010 フォルダーの [**管理**] ノードを選択します。
5. ツール バーの [**アクション**] メニューの [**SharePoint Farm Group タスク**] をクリックし、[**SharePoint 管理パックの構成**] をクリックします。
6. SharePointMP.config ファイルが正しい場所にあることを確認します。[**実行**] をクリックします。

**メモ:** このタスクには数分かかります。

1. エラーが発生しなかった場合は、ダイアログ ボックスを閉じます。

タスクがエラーなしで終了した場合は、次の手順に進みます。エラーが発生した場合は、エラーがなくなるまで、問題を修正してタスクを繰り返し実行します。

**メモ:** Microsoft SharePoint Foundation 2010 管理パック用にこのタスクを既に完了した場合は、Microsoft SharePoint 2010 製品管理パックをインポートした後で、管理タスクを再度実行するか、Microsoft SharePoint Server 2010 の検出と監視の次のサイクルが開始するまで待機することができます。

1. 前の手順の完了後に、検出が開始されます。検出処理には 30 分以上かかることがあります。
2. 検出結果を確認します。
3. Operations Manager 2007 管理サーバーで、**オペレーション コンソール**を開きます。
4. [**監視**] タブの **SharePoint Foundation 2010** フォルダーに移動します。
5. **SharePoint Foundation 2010** フォルダーの下の [**管理**] ノードを選択します。
6. ダイアグラムの表示を展開して、SharePoint 管理者と一緒に、準備されているサービスがすべて検出されているかどうかを確認します。検出されていないものがある場合は、検出処理を再度実行します。

**これで管理パックのインストールが終了し、SharePoint 展開を監視できるようになりました。**

SharePoint 環境のアラートを監視します。一部のアラートでは、モニターの正常性状態が "重大" に変わった後で、状態を手動でリセットしてアラートを閉じる必要があります。手動で閉じないと、モニターは新しいアラートを送信せずに "重大" 状態のままになります。

# この管理パッケージに含まれているファイル

この管理パッケージには、次のファイルが含まれています。

* Microsoft.SharePoint.Server.2010.mp
* Microsoft.SharePoint.Foundation.2010.mp
* Microsoft SharePoint Foundation 2010 Management Pack Guide.docx
* Microsoft SharePoint 2010 Products Management Pack Guide.docx
* Microsoft SharePoint Foundation 2010 Management Pack Readme.htm
* Microsoft SharePoint 2010 Products Management Pack Readme.htm
* EULA.rtf

# よく寄せられる質問 (FAQ)

『Microsoft SharePoint Foundation 2010 管理パック ガイド』の FAQ セクションも必ずご覧ください。

**SharePoint 2010 製品管理パックで収集されたイベント レポートの表示方法を教えてください。**

1. Operations Manager 2007 コンソールでレポート ウィンドウに移動します。
2. [**レポート**] の Microsoft SharePoint Foundation 2010 に移動します。
3. 右側のパネルで、レポートをクリックします。これにより、レポート ウィンドウが表示されます。
4. レポート ウィンドウで Microsoft SharePoint 2010 製品管理パックのチェック ボックスをオンにし、残りのフィールドを構成します。
5. [**実行**] をクリックします。
6. Microsoft SharePoint 2010 製品管理パックからの情報が表示されます。

**この SharePoint 2010 製品管理パックの監視範囲を教えてください。**

SharePoint 2010 製品管理パックの監視対象は次のとおりです。

* Microsoft SharePoint Server 2010
* Microsoft Search Server 2010
* Search Server Express 2010
* Microsoft Project Server 2010
* Office Web アプリケーション

次のサービス アプリケーションも監視対象になります。

* Access Services
* Business Data Connectivity
* Security Token Service
* Managed Metadata Web Service
* Excel Services アプリケーション
* InfoPath Forms Service
* OneNote Service
* Performance Point Services
* PowerPoint Web Service
* Secure Store Services
* SharePoint Code Service
* User Profile Service
* Visio Graphics Service
* Word Automation Service
* Word Viewing Service

**SharePoint Foundation 2010 および SharePoint 2010 製品の検出の実行はどのようにスケジューリングできますか。**

SharePoint 2010 製品の検出と SharePoint Foundation 2010 の検出をスケジューリングするには、次のノードを SharePointMP.config の WorkflowCycle ノードに追加します。

|  |
| --- |
| <Workflow Id="MOSSInstallation.Discovery;WACInstallation.Discovery;SearchExpressInstallation.Discovery;SearchStandardInstallation.Discovery" management pack="Microsoft.SharePoint.Server.2010" Type="Discovery" Times="1" />  <Workflow Id="SPService.Discovery" management pack="Microsoft.SharePoint.Server.2010" Type="Discovery" Times="4" />  <Workflow Id="SPSharedService.Discovery" management pack="Microsoft.SharePoint.Server.2010" Type="Discovery" Times="4" />  <Workflow Id="SPSharedService.Discovery.WAC" management pack="Microsoft.SharePoint.Server.2010" Type="Discovery" Times="4" /> |

追加後の WorkflowCycle ノードは次のようになります。

|  |
| --- |
| <WorkflowCycleBaseStartTime="+300" Length="28800" Spacing="60">  <Workflow Id="WSSInstallation.Discovery" Type="Discovery" Times="1" />  <Workflow Id="MOSSInstallation.Discovery;WACInstallation.Discovery;SearchExpressInstallation.Discovery;SearchStandardInstallation.Discovery" management pack="Microsoft.SharePoint.Server.2010" Type="Discovery" Times="1" />  <Workflow Id="SPFarm.Discovery" Type="Discovery" Times="1" />  <Workflow Id="SPService.Discovery" Type="Discovery" Times="4" />  <Workflow Id="SPSharedService.Discovery" Type="Discovery" Times="4" />  <Workflow Id="SPService.Discovery" management pack="Microsoft.SharePoint.Server.2010" Type="Discovery" Times="4" />  <Workflow Id="SPSharedService.Discovery" management pack="Microsoft.SharePoint.Server.2010" Type="Discovery" Times="4" />  <Workflow Id="SPSharedService.Discovery.WAC" management pack="Microsoft.SharePoint.Server.2010" Type="Discovery" Times="4" />  <Workflow Id="SPHARule.Discovery" Type="Discovery" Times="1" />  <Workflow Id="SPHARuleMonitor.Availability;SPHARuleMonitor.Security;SPHARuleMonitor.Performance;SPHARuleMonitor.Configuration;SPHARuleMonitor.Custom" Type="Monitor" Times="8" />  <Workflow Id="SPHARuleMonitor.SPServer.Availability;SPHARuleMonitor.SPServer.Security;SPHARuleMonitor.SPServer.Performance;SPHARuleMonitor.SPServer.Configuration;SPHARuleMonitor.SPServer.Custom" Type="Monitor" Times="8" />  </WorkflowCycle> |

# 検出

SharePoint 2010 製品管理パックでは、『Microsoft SharePoint Foundation 2010 管理パック ガイド』に記載されている検出対象に加えて、次のサービス アプリケーションおよび機能も検出します。

* Access Services
* Document Conversions Launcher Service
* Document Conversions Load Balancer
* Excel Calculation Services
* InfoPath Forms Service
* Managed Metadata Web Service
* One Note Service
* PerformancePoint Service
* PowerPoint Web Service
* Project Server Service
* Project Server Events Service
* Project Server Queuing Service
* Secure Store Service
* SharePoint Server Search
* User Profile Service
* Visio Graphics Service
* Word Conversion Service

# モニター

|  |  |
| --- | --- |
| **名前** | **説明** |
| 対象ユーザーのコンパイルに失敗しました | このモニターは、Sharepoint Server 2010 対象ユーザーのコンパイルに失敗した場合にアクティブになります。 |
| 個人用サイトの作成エラー | このモニターは、ユーザーの個人用サイトの作成が失敗した場合にアクティブになります。 |
| ユーザー プロファイルのコミット エラー | このイベントは、ユーザー プロファイルのコミット操作中にエラーが発生した場合にアクティブになります。 |
| スイープ同期が失敗した | このモニターは、Sharepoint Foundation 2010 と Sharepoint Server 2010 の完全な同期が失敗した場合にアクティブになります。 |
| 同期スケジューラでエラーが発生しました | このモニターは、Sharepoint Foundation 2010 と Sharepoint Server 2010 ユーザー プロファイル ストアの同期のための同期スケジューラが失敗した場合にアクティブになります。 |
| セッション キャッシュを作成できない | バックエンド アプリケーション サーバー Access Data Services コンピューターがユーザー セッション用のインメモリ キャッシュを作成できません。ユーザーは、このコンピューターを使用して Access Services アプリケーションのデータのクエリを実行できない可能性があります。 |
| Access Data Services がメモリ不足です | バックエンド Access Data Services アプリケーション サーバー コンピューターのメモリが不足しています。 |
| 構成データベースへのアクセスに失敗しました | バックエンド Access Data Services アプリケーション サーバーは構成データベースへのアクセスに失敗し、設定を読み込んだり保存することができません。 |
| テンプレート入出力エラー | Access Services はテンプレート ファイルをディスクから読み取ることができませんでした。 |
| 計算ライブラリの読み込みに失敗しました | Access Services は必須の計算ライブラリの読み込みに失敗しました。サーバーは要求を処理できません。 |
| Excel Calculation Services を使用できない | Excel Calculation Services を使用できません。 |
| ブックのディスク キャッシュを作成できない | Excel Calculation Services では、以前にユーザーの要求によって開かれたブックを保存するためにブック ディスク キャッシュが使用されます。このキャッシュは、Excel Calculation Services を実行している各コンピューターのハード ディスク上に作成されます。 |
| 構成データベースへのアクセスに失敗しました | バックエンド Excel Calculation Services アプリケーション サーバーは構成データベースへのアクセスに失敗し、設定を読み込んだり保存することができません。 |
| テンプレート ファイルがありません | Excel Services アプリケーションによって新しいブックの作成に使用されるテンプレート ファイルが見つかりませんでした。エラーが修正されるまで、ユーザーはサーバー上で新しいブックを作成することはできません。 |
| ローカライズされたテンプレート ファイルが見つかりません | Excel Services アプリケーションによって新しいブックの作成に使用される、ローカライズされたテンプレート ファイルが見つかりませんでした。サーバーは、別のロケールのテンプレート ファイルを使用して新しいブックを作成する可能性があります。この場合、Excel Services アプリケーションを使用してブックを作成するときに、正しくない言語がユーザーに表示される可能性があります。 |
| ユーザー定義関数の例外 | ユーザー定義関数が例外をスローしました。ユーザー定義関数は、サーバーに展開され、Excel Services アプリケーションが使用できるカスタム コードです。このユーザー定義関数を必要とするブックは、正しく計算を実行できない可能性があります。ユーザー定義関数を修正し、サーバーに再展開する必要があります。 |
| 予期しないブック エラー | 予期しないエラーにより、バックエンド Excel Calculation Services アプリケーション サーバーのブック セッションが終了しました。 |
| 保存が失敗した | バックエンド Excel Calculation Services アプリケーション サーバーから編集済みのファイル フォームを保存しようとしましたが、失敗しました。 |
| メモリ割り当てに失敗しました | バックエンド Excel Calculation Services アプリケーション サーバーがメモリの割り当てに失敗しました。 |
| 内部エラー | バックエンド Excel Calculation Services アプリケーション サーバーで内部エラーが発生しました。 |
| InfoPath Forms Services が ifsFileNames.xml の検索も読み込みもできない | InfoPath Forms Services による ifsFileNames.xml の検索も読み込みもできないことを示す、重大な状態のモニターです。 |
| InfoPath Forms Services フォーム テンプレートのメモリ内キャッシュが頻繁に再読み込みされています | InfoPath Forms Services インメモリ キャッシュのフォーム テンプレートが頻繁に再読み込みされていることを示す、警告状態のモニターです。これは、メモリの負荷が高くパフォーマンスが最適化されていないことを示します。 |
| InfoPath Forms Services ユーザーが最大許容ポストバック数を超えました | ユーザーが、フォーム セッションごとに許可されるポストバック数について設定されたしきい値を超過したことを示す、警告状態のモニターです。この状態が発生すると、サーバーを保護するためにユーザー セッションが強制終了されます。 |
| InfoPath Forms Services ユーザーがポストバックごとの最大アクション数を超えました | ユーザーが、ポストバックごとに許可されるフォーム アクション数について設定されたしきい値を超過したことを示す、警告状態のモニターです。この状態が発生すると、InfoPath Forms Services はサーバーを保護するためにユーザー セッションを強制終了します。 |
| Search Service が実行されていない | Search Service が実行されていないことを示す、重大な状態のモニターです。 |
| 検索データベースの容量不足エラー | 検索データベースの容量が不足しています。 |
| 検索インデクサー エラー | mssearch.exe の処理、クロール、またはクエリ コンポーネントの初期化中にエラーが発生しました。 |
| クエリ コンポーネント ミラーのエラー | クエリ コンポーネントでエラーが発生し、1 つ以上のミラー化されたクエリ コンポーネントがクエリを処理し続けています。 |
| クエリ コンポーネントのエラー | クエリ パーティションの最新クエリ コンポーネントでエラーが発生しました。クエリは失敗する可能性があります。 |
| クエリまたはクロール コンポーネントでディスク領域が不足している | クエリ コンポーネントのインデックスに関連付けられた記憶域の場所で容量が不足しています。 |
| クロール伝達エラー | クロール コンポーネントがクエリ サーバーと通信できませんでした。 |
| クエリ インデックス エラー | クエリ インデックスの破損が検出されました。 |
| 検索クローラーのディスク領域不足の警告 | クローラーは、アイテムのインデックス作成に使用される一時ディレクトリに新しいファイルを作成できません。 |
| ホストを使用できないエラー | クロール コンポーネントがリモート コンテンツ ホストと通信できませんでした。 |
| Visio Graphics Services が構成マネージャーを検出できない | Visio Graphics Services が適切に構成されていないか存在しないことを示す、重大な状態のモニターです。 |
| Visio Graphics Services がアプリケーション プロキシによって返されたアプリケーション サーバーに接続できない | Visio Graphics Services が、アプリケーション プロキシによって返されたアプリケーション サーバーに接続できないことを示す、重大な状態のモニターです。 |
| Visio Graphics Services が Visio Service プロキシを初期化できない | Visio Graphics Services が Visio Graphics Services アプリケーション サーバーを検出できないか接続できないことを示す、重大な状態のモニターです。 |
| キュー データベースの正常性 | Word Services キュー データベースに何らかの理由でアクセスできないことを示す、重大な状態のモニターです。 |

# ルール

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **名前** | | **説明** |
| 個人用サイトの作成エラー | | CreateMySiteFailure イベントに対応するルールです。 |
| ユーザー プロファイルのコミット エラー | | Commit User Profile Failure イベントに対応するルールです。 |
| スイープ同期が失敗した | | Sharepoint Foundation 2010 と Sharepoint Server 2010 プロファイル ストアのスイープ同期が失敗した場合に適用されるルールです。 |
| Access Data Services へのアクセスが失敗した | | Web フロントエンド コンピューターが、特定のバックエンド Access Data Services アプリケーション サーバーと通信できませんでした。そのサーバーが利用できない場合、トラフィックは別のサーバーに負荷分散されます。 |
| Access Data Services がメモリ不足です | | バックエンド アプリケーション サーバー Access Data Services コンピューターのメモリが不足しています。 |
| Access Services がセッション キャッシュを作成できない | | バックエンド アプリケーション サーバー Access Data Services コンピューターがユーザー セッション用のインメモリ キャッシュを作成できません。ユーザーは、このコンピューターを使用して Access Services アプリケーションのデータのクエリを実行できない可能性があります。 |
| Access Services の構成データベースへのアクセスが失敗した | バックエンド Access Data Services アプリケーション サーバーは構成データベースへのアクセスに失敗し、設定を読み込んだり保存することができません。 |
| Access Services が計算ライブラリの読み込みに失敗した |  |
| Access Services テンプレート入出力エラー |  |
| Excel Calculation Services との通信エラー | フロントエンド Web サーバーが Excel Calculation Services への接続を確立しようとしましたが、通信エラーが発生しました。 |
| Excel Calculation Services がローカルに実行されていない | Excel Services アプリケーションの負荷分散スキームがサーバーの全体管理でローカルとして構成されていますが、Excel Calculation Services がフロントエンド Web サーバー上で実行されていません。 |
| Excel Calculation Services を使用できない | Excel Calculation Services がサーバー内のコンピューターで実行されていません。 |
| 構成されたファイル アクセス方法が無効 | Excel Calculation Services には、UNC および HTTP の信頼された場所で使用されるファイル アクセス方法を構成するための設定があります。ファイル アクセス方法を偽装として構成する場合、Excel Calculation Services はファイルにアクセスするためのエンド ユーザーの資格情報を委任できる必要があります。 |
| 構成された Excel Calculation Services の最大メモリを超えました | Excel Calculation Services では、Excel Calculation Services を実行するアプリケーション プールで使用される "プライベート バイトの最大サイズ" の設定を構成できます。アプリケーション プール プロセスで使用されるプライベート バイト数が "プライベート バイトの最大サイズ" の設定値を超えた場合、Excel Calculation Services は新しいセッションに対する要求の処理を停止して、既存のセッションの操作要求と検索要求のみを処理します。 |
| 資格情報を委任できない | Excel Calculation Services は、委任された資格情報を使用するように構成されています。このエラーは、フロントエンド Web サーバーがエンド ユーザーの資格情報を Excel Calculation Services に委任できなかったことを示します。 |
| Excel Calculation Services との接続を確立できない | フロントエンド Web サーバーが Excel Calculation Services との接続を確立できません。 |
| ブックのディスク キャッシュを作成できない | Excel Calculation Services では、以前にユーザーの要求によって開かれたブックを保存するためにブック ディスク キャッシュが使用されます。このキャッシュは、Excel Calculation Services を実行している各コンピューターのハード ディスク上に作成されます。Excel Calculation Services が、このキャッシュ用のファイル ディレクトリを作成できませんでした。Excel Calculation Services のプロセスが、このファイル ディレクトリを作成する権限を持っていることを確認してください。 |
| セッションへの許可されていないアクセスを試みた | あるユーザーが別のユーザーのセッションへのアクセスを試行した場合、Excel Calculation Services では、セッションを所有していないユーザーによる要求が拒否され、イベントが Windows イベント ログに記録されます。 |
| ブックのディスク キャッシュがいっぱいである | Excel Calculation Services では、以前にユーザーの要求によって開かれたブックを保存するためにブック ディスク キャッシュが使用されます。このエラーは、ブック キャッシュが満杯でブックを読み込むための領域がないことを示します。 |
| Excel Calculation Services の NULL のアクセス違反 | Excel Services アプリケーションに読み込まれたブックにより、null アクセス違反が発生しました。このエラーの原因となった、同一のユーザーによって読み込まれた複数の異なるブックで、そのユーザーによるセキュリティ違反が示される可能性があります。 |
| Excel Calculation Services の NULL のアクセス違反 | Excel Calculation Services に読み込まれたブックにより、null ではないアクセス違反が発生しました。これらのアクセス違反はセキュリティの問題となる可能性があります。このエラーの原因となった、同一のユーザーによって読み込まれた複数の異なるブックで、そのユーザーによるセキュリティ違反が示される可能性があります。 |
| Excel Calculation Services 配列が境界の範囲外である | Excel Calculation Services サーバーに読み込まれたブックが、メモリ構造の境界を上書きし、誤ってデータにアクセスしようとしました。このエラーの原因となった、同一のユーザーによって読み込まれた複数の異なるブックで、そのユーザーによるセキュリティ違反が示される可能性があります。 |
| Excel Calculation Services の内部エラー | 予期しない内部エラーが発生しました。 |
| Excel Calculation Services が保存に失敗した | バックエンド Excel Calculation Services アプリケーション サーバー コンピューターがブック ファイルの保存に失敗しました。ユーザーは変更したファイルを保存できません。 |
| Excel Calculation Services の予期しないブック エラー | 予期しないエラーにより、バックエンド Excel Calculation Services アプリケーション サーバーのブック セッションが終了しました。 |
| Excel Calculation Services 構成データベースへのアクセスに失敗した | バックエンド Excel Calculation Services アプリケーション サーバーは構成データベースへのアクセスに失敗し、設定を読み込んだり保存することができません。 |
| Excel Calculation Services メモリ割り当てに失敗した | バックエンド Excel Calculation Services アプリケーション サーバーがメモリの割り当てに失敗しました。 |
| Excel Calculation Services ユーザー定義関数の例外 | ユーザー定義関数が例外をスローしました。ユーザー定義関数は、サーバーに展開され、Excel Services アプリケーションが使用できるカスタム コードです。このユーザー定義関数を必要とするブックは、正しく計算を実行できない可能性があります。ユーザー定義関数を修正し、サーバーに再展開する必要があります。 |
| Excel Calculation Services のローカライズされたテンプレート ファイルが見つからない | Excel Services アプリケーションによって新しいブックの作成に使用される、ローカライズされたテンプレート ファイルが見つかりませんでした。サーバーは、別のロケールのテンプレート ファイルを使用して新しいブックを作成する可能性があります。この場合、Excel Services アプリケーションを使用してブックを作成するときに、正しくない言語がユーザーに表示される可能性があります。 |
| Excel Calculation Services テンプレート ファイルがない | Excel Services アプリケーションによって新しいブックの作成に使用されるテンプレート ファイルが見つかりませんでした。エラーが修正されるまで、ユーザーはサーバー上で新しいブックを作成することはできません。 |
| InfoPath フォーム テンプレートに競合するビジネス ロジック アセンブリ ID がある | InfoPath フォーム テンプレートには、ビジネス ロジック アセンブリに格納されているマネージ コードを含めることができます。マネージ コードを含むフォーム テンプレートが、InfoPath Forms Services を実行するサーバーに展開されている場合、ビジネス ロジック アセンブリには一意の厳密な名前が必要です。アセンブリの競合が認識されると、エントリが Windows イベント ログに記録されます。 |
| フォーム テンプレートの読み込み中に InfoPath Forms Services ビジネス ロジックの例外が発生した | ビジネス ロジックの例外が原因で、InfoPath Forms Services がフォーム テンプレートを読み込むことができません。 |
| InfoPath Forms Services ポストバックの失敗 | InfoPath Forms Services によってフォーム要求の処理中にエラーが発生しました。 |
| InfoPath Forms Services がフォーム テンプレートの読み込みに失敗した | フォーム テンプレートが InfoPath Forms Services によって読み込まれませんでした。 |
| InfoPath Forms Services ビジネス ロジックが上限操作数を超えた | フォームのビジネス ロジック内でエラーが発生しました。 |
| 例外のためビジネス ロジックでエラーが発生した | フォーム テンプレート内のビジネス ロジックが例外により失敗しました。 |
| InfoPath Forms Services ビジネス ロジックが、シリアル化されていないオブジェクトを格納しようとした | InfoPath Forms Services では、FormState プロパティ バッグに、複数のサーバー ポストバックのビジネス ロジックの状態を保持することができます。たとえば、ビジネス ロジックの特定のメソッド内で、ローカル変数を複数のポストバックのフォーム状態バッグに永続的に保存することができます。プロパティ バッグに保存されるすべてのオブジェクトは、シリアル化可能である必要があります。 |
| ビジネス ロジックがメモリ不足 | ビジネス ロジックによるメモリの割り当てが不十分です。 |
| ドメイン間の無効なデータ送信接続が試みられた | このアクションがクロスドメインのセキュリティ制限に違反するため、フォームは InfoPath Forms Services によって送信されませんでした。 |
| ドメイン間の無効なクエリ データ接続が試みられた | このアクションがクロスドメインの制限に違反するため、フォームはデータをデータ ソースから取得できませんでした。 |
| Visio Graphics Services がダイアグラムの生成に失敗した | Visio Graphics Services はダイアグラムをラスタライズまたは生成できませんでした。 |
| Visio Graphics Services が要求されたファイルを読み込めなかった | Visio Graphics Services は、要求されたファイルを検出または解析できませんでした。 |
| Visio Graphics Services がデータの更新に失敗した | Visio Graphics Services は、ファイルのデータを更新できませんでした。 |
| Visio Graphics Services が信頼できないプロバイダーからのデータを要求した | Visio Graphics Services が、信頼できるプロバイダーのリストにないプロバイダーからデータを取得しようとしました。 |
| Visio Graphics Services が要求されたデータ プロバイダーに接続できなかった | Visio Graphics Services が、要求されたデータ プロバイダーに接続できませんでした。 |
| イベント ログ大量発生保護がアクティブになっている | このルールは、イベントが 2 分間に 6 個以上発生したためにイベント ログのイベント大量発生保護がアクティブになったことを示しています。 |